



チャレンジ100！

始業式で、「努力線」と「成長曲線」の話をした際に、「100を意識して何かにチャレンジしましょう！」と子どもたちに呼びかけました。例えば、「本を100冊読む」、「スマイルあいさつを100日続ける」、「自主学習を100ページ行う」、「600m走チャレンジランキング大会に向けて100km走る」など、100という数字を目標にチャレンジするのが「チャレンジ100！」の取組です。(略して100チャレ)

各学年で1学期のめあてを立てる際に、自分はどんな100にチャレンジするか、子どもたち一人一人が考えます。自分なりの100を達成することができた時に、一人一人にどんな成長がみられるのか、今からとても楽しみです！ 保護者の皆様には、お子さんの100チャレの応援、宜しくお願いいたします。






チャレンジ! 100

- 本を100冊読む！
- 自主勉100ページ！
- トイレのスリッパそろえ100日！
- 二重回し跳び連続100回！
- 校庭100周走る！
- 日本国憲法前文100回音読する！
- スマイルあいさつ😊100日続ける！
- 学校だより100号！(校長先生)
- 自主勉100日やる！
- 600m走チャレンジランキング大会にむけて100km走る！

私は「ランニングを年間100km」にチャレンジします！と宣言し、100チャレシートを手にする教頭先生。

◆シリーズ①◆ 生活の枠組みをルールで示す

よりよい生活習慣を子どもに身に付けさせるために、親の価値観を表す枠組みを「ルール」という形で表現することができます。ルールという形あるものにすることで、子どもは親に何を求められているのかがよく分かります。枠組みは親の考え方であり、それを約束事にしたものがルールと言えます。ルールに従って共に暮らせる人が、家族と一緒に楽しい時間を過ごすことができます。

枠組みをルール化すると、どんなふうになるでしょう。例を挙げてみましょう。

- 決まった時間に寝る・自分で起きる
- おやつは5時までにする
- テレビは2時間まで
- 宿題は夕食前にすませる
- リビングに自分の物を置きっぱなしにしない
- 人の物を勝手に使わない
- 履物をきちんと揃える
- 決まった手伝い(風呂洗い、玄関掃除等)を毎日する
- 寝るときにはスマホやゲーム機はリビングに置いていく など。

ルールは、子どもが人と共に楽しく生きるための基本的なマナーを身に付けるためのものであることが大切です。子どもの自由や創造性を潰すものであってはなりません。ルールを盾にとり、この通りにしなさいと押し付けたり、ルール通りにしなかったと言って、親が子に罰を与えたりするのは賢明ではありません。小さい時から親の枠組みを与え続けていれば、子どもは「そういうもの」として受け入れ、それに沿って生きていくようになります。次回は「朝、時間になっても起きてこない」です。